

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	松下峻也
	全体計画						経費区分		-		内線	3414
事務事業名	4165 畜産総合対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012200 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費										
	事業	010000 畜産総合対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。						ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
荷受けホッパー攪拌装置修繕	有機センターホイルローダー、トラックスケールシステムを更新 原料ホッパー等修繕 生ごみたい肥化開始
平成26年度 予定	平成27年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		12,036	4,593
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,036	4,593
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		12,036.0	4,593.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,351	消耗品304,500円 修繕料1,045,590円
13節 委託費	2,746	機械設備保守点検委託372,750円 計量システム更新委託1,449,000円 生活環境影響調査委託924,000円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,218	家畜防疫協議会負担金257,000円 北信食肉センター運営負担金238,700円 家畜診療所運営負担金1,722,000円
その他	5,721	ホイルローダー更新5,197,500円 土地借上料524,800円

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,360	消耗品 修繕料
13節 委託費	320	機械設備保守点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,407	家畜防疫協議会負担金 北信食肉センター負担金 家畜診療所運営費負担金
その他	506	土地借上料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	近年、口蹄疫、鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の蔓延が地域社会に大きな影響を与える中、家畜防疫は重要になりつつある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	畜産農家と協力し、防疫は効果的に行われている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	受益者負担を求める余地あり	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設整備から年数がたち修繕等が増えている。点検に基づき、計画的な修繕が必要。
--

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設修繕等については、畜産全体の動向を見ながら慎重に行う必要がある。		農協など関係団体等と連携し、畜産農家への情報支援など、引き続きその支援体制の充実に努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	